

資料6

今後の予定について

平成30年度の予定 — 下水道技術開発会議 —

◆ 下水道技術開発会議(2回程度開催予定)

◆ 第1回会議 …… 平成30年7月開催予定

主な検討課題(案)

- ◆ ロードマップ重点課題(平成30年度選定・改定)について
- ◆ 平成30年度の具体的検討課題の経過報告

◆ 第2回会議 …… 平成31年1月開催予定

主な検討課題(案)

- ◆ ロードマップの見直し
- ◆ 平成30年度の検討結果の報告
- ◆ 平成31年度の検討課題について

◆ その他、必要に応じて秋頃の会議開催、委員へのヒアリング、意見交換を予定

平成30年度の取組方針 — 活動の柱毎の取組 — #1

- ◆ 各「活動の柱」における平成30年度の取組方針
 - ◆ 活動の柱①「技術ニーズの把握と発信」、②「技術シーズの把握と発信」
 - ◆ 技術ニーズ調査は、個別ヒアリング調査と各種会議における議題収集を継続して実施(全国アンケート調査の実施は一旦休止)
 - ◆ 各種会議における議題の情報共有方法について検討
 - ◆ 技術シーズ調査は、今年度と同様に実施
 - ◆ 活動の柱③「ニーズとシーズの架け橋」
 - ◆ プロジェクトGAMと連携し、GAMデータベースの充実を図る
 - ◆ 活動の柱④「国などの技術情報の共有(グローバルとローカルの架け橋(1))」
 - ◆ B-DASH技術の普及展開状況調査を今年度と同様に実施し、結果を公表
 - ◆ B-DASH技術について、分かりやすい技術情報の提示(技術概要、メリット、デメリット、導入検討のタイミング、導入事例)を進め、自治体、民間企業等への情報共有方法を工夫
 - ◆ B-DASH技術のフォローアップ(効果、安定性、維持管理性)と情報の提示
 - ◆ 他団体が保有する技術情報について情報収集し、情報共有方法を検討

平成30年度の取組方針 — 活動の柱毎の取組 — Ⅱ

- ◆ 活動の柱⑤「地方の技術開発・技術導入の支援(グローバルとローカルの架け橋(2))」
 - 1) 情報、ノウハウの共有による技術導入支援
 - ◆ B-DASH技術の普及展開状況を今年度と同様に実施し、結果を公表【再掲】
 - ◆ プロジェクトGAMと連携し、GAMデータベースの充実を図る【再掲】
 - ◆ エネルギー分科会において、新技術導入上の課題や解決策を深掘り(競争性の確保を目的とした技術性能の明確化のための技術開発スキームの検討等)
 - 2) 小都市等の下水道事業をサポートする技術の開発・普及方策
 - ◆ 個別ヒアリング調査を継続して実施
- ◆ 活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」
 - ◆ ロードマップの改定検討
 - ◆ ロードマップ重点課題の検討・公表
 - ◆ ロードマップの進捗確認作業開始

下水道技術開発レポート2017

- ◆ 下水道技術ビジョンの継続的なフォローアップの一環として、当会議における分析・検討結果や今後の課題について定期的にとりまとめ、公表していることとしている。
- ◆ 昨年度、「下水道技術開発レポート2016」をその初号として公表
- ◆ 今回会議での議論を踏まえ、今年度の検討内容について「下水道技術開発レポート2017」として公表予定

下水道技術開発レポート2017 目次案

1. 平成28年度下水道技術開発会議における検討状況
2. 下水道事業の技術的課題、ニーズに関する分析
 - ・ 自治体ニーズ調査
 - ・ 自治体ヒアリング調査
 - ・ 各種会議における議題の収集・分析
3. 下水道技術ビジョン・ロードマップ重点課題の選定とロードマップの見直し
4. 下水道技術の開発・導入促進に向けた課題に関する検討
 - ・ 自治体ヒアリング調査
 - ・ プロジェクトGAMとの連携
 - ・ 分科会の設置準備
5. 今後の検討課題